

コア歯学教育演習基礎

コーディネーター：細胞情報科学分野 石崎明教授

：歯周療法学分野 八重柏隆教授

担当：歯学部基礎講座の全分野

第3学年 前期・後期

演習

前期 15.0 時間
後期 67.5 時間

学修方針（講義概要等）

3年次前期までに履修する歯科医学（解剖・組織・生理・生化・病理・薬理・微生物・理工・公衆衛生・社会と歯学・歯放）の重要点の理解度を深めるため、3クール制の集中講義やICTを活用した繰り返し演習を実施する。本科目の修得により、4年次に履修するコア歯学教育演習（1）を受講するための基礎学力を養い、臨床参加型実習を履修するために必要且つ十分な基礎歯科学的知識基盤の確立を目指す。

教育成果（アウトカム）（演習試験）

3年次前期までに履修する歯科医学（解剖・組織・生理・生化・病理・薬理・微生物・理工・公衆衛生・社会と歯学・歯放）についてICTを活用した演習試験をCBTと近い環境で体験することにより、歯科医学専門科目を復習し、歯科医学のコアで修得すべき内容が実際に身につけていることを3年次の段階で早期に再確認できる。また5年次臨床実習を行うに足る十分な基礎歯科医学領域の知識を確実に身につけることができる。（ディプロマ・ポリシー：4）

事前学習内容及び事前学習時間（30分）

事前学習（予習）は、シラバスに記載されている各回の演習・試験内容に関し教科書を用いて調べるものとし、各回最低30分以上を要する。適宜、各解説講義で事前学習内容の確認時間を設ける。

特記事項・その他

事前学習教材として過去の国試問題（DESSお試し演習）を演習できるよう、下記演習実施前日まで設定する。各学生は同教材を事前に予習した上で、各講義室での演習試験に臨むこと。講義室演習試験実施日にはインターネットに接続できるPC、タブレット等を準備しておくこと。

到達度確認試験①～③はCBT本試験と同様に原則としてマルチメディア教室PC、DESS講義室演習試験は学生の端末を使用して実施する。必ず事前に履修済み科目に関して十分に復習してから試験に臨むこと。

講義・演習・試験日程

月 日	講義・演習・試験の概要
4月4日(月)1,2限	到達度確認試験①：解剖・組織・生理・生化・病理・薬理・微生物・理工・公衆衛生
4月5日(火)1～4限	前期講義：到達度確認試験①の試験結果等を参考に基礎領域の理解不足項目について補習し、到達度を確認・認識する。（担当時間：解剖・組織・生理・生化：45分、病理・薬理・微生物・理工・公衆衛生：30分） 4月5日(火)1限：理工・微生物・病理 4月5日(火)2限：生化・生理 4月5日(火)3限：解剖・組織 4月5日(火)4限：薬理・公衆衛生
4月15日(金)1,2限	DESS講義室演習試験（講義室で学生の端末を使用） DESS基礎演習A：解剖・組織・生理・生化（2年履修済み教科）
6月24日(金)3,4限	3限：DESS必修試験（全員、2年履修済み教科）、4限：演習A再試験（該当者）
8月31日(水)1～4限	DESS基礎演習B：病理・薬理・微生物・理工・衛生・放射
10月25日(火)1～4限	DESS必修試験：病理・薬理・微生物・理工・衛生・放射・他

【後期時間割】(予定)

各試験結果等を参考に各領域の理解不足項目について(時間:原則として各分野 90 分)講義し CBT 合格水準到達を目標として到達度確認試験を講義終了後に行う。

	1 限 8: 50~10: 20	2 限 10: 30~12: 00	3 限 13: 00~14: 30	4 限 14: 40~16: 10
8 月 26 日 (金)	(予 備)	歯 放	解 剖	組 織
8 月 29 日 (月)	生 理	生 化	薬 理	微生物
8 月 30 日 (火)	病 理	理 工	公衆衛生・社会と歯学	

9 月 22 日 (木) 1, 2 限 到達度確認試験②: 歯放を含む全領域

11 月 4 日 (金)	(予 備)	歯 放	微生物	解 剖
11 月 7 日 (月)	組 織	生 化	薬 理	生 理
11 月 8 日 (火)	病 理	理 工	公衆衛生・社会と歯学	

12 月 1 日 (木) 1, 2 限 到達度確認試験③: 歯放を含む全領域

1 月 31 日 (火)	(予 備)	歯 放	解 剖	組 織
2 月 1 日 (水)	生 理	生 化	薬 理	微生物
2 月 2 日 (木)	病 理	理 工	公衆衛生・社会と歯学	
2 月 7 日 (火)	(予 備)	(予 備)	(予 備)	(予 備)
2 月 9 日 (木)	(英語試験)		後期試験 (総合試験)	

成績評価方法

【到達度確認試験について】

- ・到達度確認試験はマルチメディア教室 PC を用いて実施する。

【後期試験受験資格について】

- ・到達度確認試験および DESS 講義室演習試験を受験すること。
- ・講義に規定数以上出席すること (前期・後期で各評価)。
- ・各 DESS 演習試験で正答率 8 割以上得点 (8 割未満は再試) すること。
原則として以上を満たすことを受験資格とする。

【後期試験について】 総合試験形式により実施する。

【成績評価について】

到達度確認試験①~③、DESS 演習試験および後期試験の点数により総合的に評価する。